



育
導課

庄原市の2教員が表彰

平成20年度文部科学省優秀教員・県教育賞

口南小学校の家島英明校長が広島県教育賞に、そして東小学校の古家八千代教諭が文部科学省優秀教員にそれぞれ選ばれ、表彰を受けました。

家島校長は、小規模校で少人数の特性を取り組み、評価の一体化に取り組み、評価の質を高める教育実践を進め、他の学校に模範を示したこと。また、情報教育の推進にも積極的に取り組み、成果をあげたことが高く評価されました。

古家教諭は、国語科の「書くこと」の指導をはじめ、質の高い授業を開き、授業力が抜群に出ていること。

また、庄原市学力向上検討委員会の委員として、市内の国語力向上を推進したことが高く評価されました。



古家八千代 教諭



家島英明 校長

名物料理づくりを支援する「新たな庄原名物づくり支援補助金」に5件を採択しました。

これは、一人当たりの観光消費額が2,270円と県平均の半分以下の状況を改善するため、食事や土産に対する魅力を高め、観光消費額を増やそうと庄原市観光キャンペーン実行委員会が平成20年度に創設したものです。

この補助金に10件の申請があり、①名物として親しまれるか、②地域の資源を活用しているか、③庄原しさが感じられるか、などの観点から審査を行いました。事業採択を受

けた株式会社ニュー東城では、「そば石」を3月1日から販売しています。今後は、名物料理や特産品の試食会、パンフレットの作成、各種イベントでのPRで「新たな庄原名物」の確立を図り、「市民が儲ける観光」を目指します。

工
商
觀光課

新たな庄原名物を創ろう

庄原名物づくり支援補助金に5件



谷川さんの講演



東城特産そば懐石

「高齢者虐待防止講演会」を2月25日、口和保健センターで開催し、40人が参加しました。

高島市で社会福祉士事務所を経営する谷川ひとみさんが、「支えあう心で高齢者虐待をなくしていく」と題して講演。介護疲れなどから行き詰まり、虐待を起こしてしまった事例などをあげ、なぜ高齢者への虐

待が発生するのか、どうすれば無くなるのか、参加者と一緒に考えました。

地域の支えあいで虐待を防ぐ

高齢者虐待防止講演会

「高齢者虐待防止講演会」を2月25日、口和保健センターで開催し、40人が参加しました。

高齢者の虐待防止については、平成18年に法律が整備されましたが、相談者がいないことや介護へのストレス、地域内の孤立などによって、高齢者への虐待が起っています。

